

ぶどう品種「サニールージュ」の花穂整形と摘粒

【1 成果概要】

花穂の整形は、開花初期（副穂の開花が始まった頃）に副穂を除去し（長い花穂は上部支梗を1～3段除去）、花穂の長さを概ね7～8cmとします。なお、花穂の先端は切りつめません。（図1）

摘粒は果穂の結実を確認した後に実施し、収穫時の着粒数を70粒前後とします。具体的には、果房の表・裏の支梗を各1列ずつ除去します。（図2）

収穫期における房重の目標は販売の主体となる規格Lの350g前後とします。

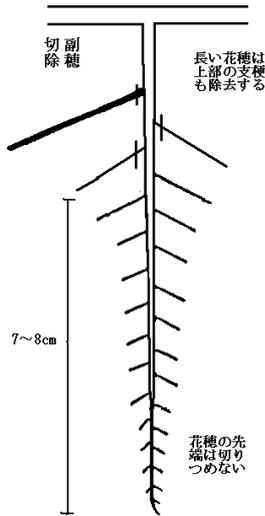


図1 花穂の整形

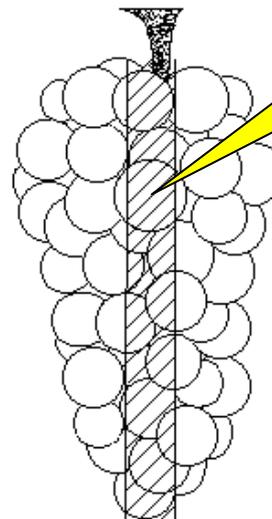


図2 摘粒

この部分の支梗を表・裏併せて1列ずつ除去します

無摘粒果房は密着果房となり裂果する場合があります。

表1 花穂長別収穫果房の果実品質

試験区名	試験年次	房重(g)	粒重(g)	着粒数(粒)	糖度(Brix%)	酸度(g/100g)
花穂4cm区	H18	320	5.4	53	16.7	0.49
花穂7cm区	H18	350	4.8	70	16.8	0.53
花穂8cm区 (副穂のみ除去)	H18	359	4.7	73	16.6	0.51
花穂10cm区 (副穂のみ除去)	H18	433	4.5	93	16.5	0.43

- ・各区とも開花始め期に花穂を整形。
- ・ジベレリン処理時期：1回目 H18.6.26 及び H19.6.22
2回目 H18.7.7 及び H19.7.4
- ・いずれの区も果房の表・裏の支梗を1列ずつ除去する摘粒を実施。
- ・収穫日：H18.9.5 及び H19.9.6

【2 留意事項】

- 1 満開期と満開10日後にジベレリン水溶剤25ppmの浸漬処理が必要です。
- 2 樹勢を維持コントロールするため、副梢は葉を1～2枚残して、こまめに摘芯しましょう。

【3 効果】

- 1 「サニールージュ」の高品質安定生産につながります。
- 2 ぶどう産地の活性化につながります。（普及見込み面積：10ha）

【4 適応対象】

ぶどう生産農家